

飲酒運転撲滅宣言企業 公益社団法人福岡県トラック協会



○ 公益社団法人福岡県トラック協会様の紹介

福岡県トラック協会は、福岡・北九州・筑豊・筑後の4支部、支部傘下の25分会から構成されており、会員数は2,126事業所、保有車両は53,902台です。（平成27年1月現在）

県民生活と経済活動に不可欠な物資輸送を担う貨物自動車運送事業は、安定した輸送力の確保と、安心して安全な輸送サービスの提供により県民生活の向上と地域経済の発展に寄与しており、業界に課せられている公共的使命と社会的責任を果たすため、安全対策、環境対策、緊急救援物資輸送対策などの公益的な事業を行っています。

企業HP：

<http://www.hearty.or.jp/>



○ 飲酒運転撲滅に向けた取組事例

- ① 乗務前には、上司立会いのもとでアルコール検知を実施し、運転日報に数値を記録しています。
また、年末年始・夏季・GW休暇前には、他県ナンバーが多いことから、上司が飲酒運転禁止などの交通事故防止について指示しています。
- ② 飲酒運転撲滅の啓発グッズ（のぼり旗、キーホルダー、車両貼付用ステッカー、ピンバッジ、卓上ミニのぼり旗）を作成し、全会員事業所や一般の方に配布しました。
- ③ 四季の交通安全県民運動期間中、各支部で実施しているバスキャンペーン及び関係団体主催の行事に傘下会員事業所が参加し、飲酒運転撲滅の啓発等に努めています。
- ④ 傘下会員事業所の運転管理者や運転者等を対象とした、各支部で実施している安全運転講習会において飲酒運転撲滅や事故防止の講習を行っています。
- ⑤ 飲酒運転撲滅対策として、会員に対するアルコール検知器等の購入費用の一部助成を行っています。



講習時においても、飲酒運転撲滅の為の講話を行っています。



乗務前にはアルコールチェックを実施しています。

○ (公社)福岡県トラック協会の方にインタビューに答えていただきました！！

Q 飲酒運転撲滅のための取組を始めたきっかけは何ですか？

A 平成18年8月の海の中道大橋での飲酒運転事故や、平成23年2月の粕屋町で、男子高校生2人が犠牲となる飲酒運転事故などがきっかけですが、県内の飲酒運転事故は依然として後を絶たず、全国ワースト上位にあるため、当協会の交通安全対策の最重点施策として「飲酒運転撲滅運動」に取り組んでいます。

福岡県知事から、平成24年4月1日付けで「公益社団法人福岡県トラック協会」と認定されたため、更に取り組みを強化しています。



飲酒運転撲滅の啓発グッズは、毎年数多く作成しています！

Q 飲酒運転撲滅のための取組を行うようになって、従業員に意識の変化はありましたか？

A 「STOP!飲酒運転」に関する、のぼり旗、卓上ミニのぼり旗、キーホルダー、ボールペン、ピンバッチ、トラック貼付用大判ステッカー等を作成し、全会員に配布したことで、会員の意識啓発が徹底されました。

飲酒運転に対し、「私たちは絶対にしない！」という、プロドライバーとしての責任と自覚が強くなり、業界内だけではなく一般の方に向けても広く「STOP!飲酒運転」を呼び掛けるなど、飲酒運転撲滅に向けた機運がより一層高まりました。

関係団体が主催する行事には積極的に参加し、街頭啓発やパレードを行っています！



Q 飲酒運転撲滅に向けたメッセージや今後取り組んでいきたいことをお聞かせください。

A 「交通事故ゼロを目指す、安全！安心！信頼の緑ナンバー」、「絶対にしない！させない！許さない！STOP飲酒運転宣言」の2つをスローガンに掲げ、プロドライバーとしての自覚を新たに、今後も業界を挙げて交通事故防止並びに飲酒運転撲滅に積極的に取り組んでまいります。

テレビ・ラジオ・新聞等のマスメディアを通して、今後も飲酒運転撲滅に向けたメッセージを発信していきます。